

事業別の概況

■売上概況

●電子事業

積層チップパワーインダクタは、携帯電話の高性能化・小型化・薄型化に伴う積層タイプへの切替により、携帯電話一台あたりの搭載数の増加に加え、生産能力の増強が寄与し、前年同期を上回りました。コイルデバイスは電源向けなどが伸びました。光通信用部品は、海底ケーブル向けが引き続き順調に推移し前年同期を上回りました。スイッチング電源は、前年同期並みを確保いたしました。液晶ディスプレイ用信号処理モジュールなどの液晶関連製品は、価格競争の激化による製品価格の下落に加え、液晶パネルメーカーの生産調整ならびに内部調達拡大の影響により、前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ27.6%減の334億35百万円となりました。

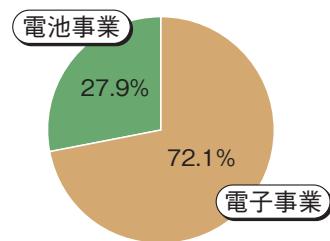
●電池事業

当事業の主力製品であるアルカリ乾電池は、国内市場において富士通アルカリ乾電池「G.D.Rシリーズ」の販売キャンペーンをはじめとする拡販活動に努めるとともに、海外市場においては、販売活動の強化などにより前年同期を上回りました。なお、高騰が続く原材料価格に対応するため、7月より価格改定を行ないました。リチウム電池は、北米の住宅需

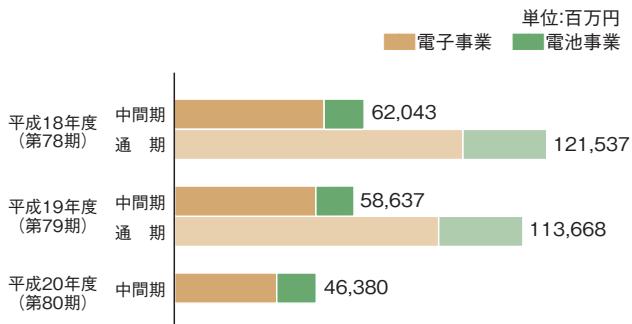
要減少の影響を受け、防災機器用などの需要が減少したことにより前年同期を下回りました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期に比べ4.1%増の129億44百万円となりました。

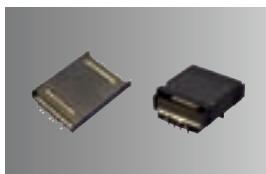
■売上高構成比率



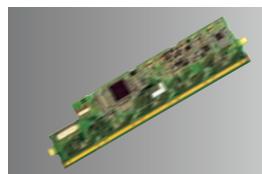
■売上高



積層チップパワーインダクタ



コイルデバイス



液晶ディスプレイ用
信号処理モジュール



富士通アルカリ乾電池